
RYUKYU FERTILIZER COMPANY PROFILE

琉球肥料株式会社 会社案内



豊かなみのりを願って



琉球肥料株式会社

〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地15
TEL (098) 938 - 5566(代) FAX (098) 938 - 5568
URL <http://www.ryuhi.sakura.ne.jp>

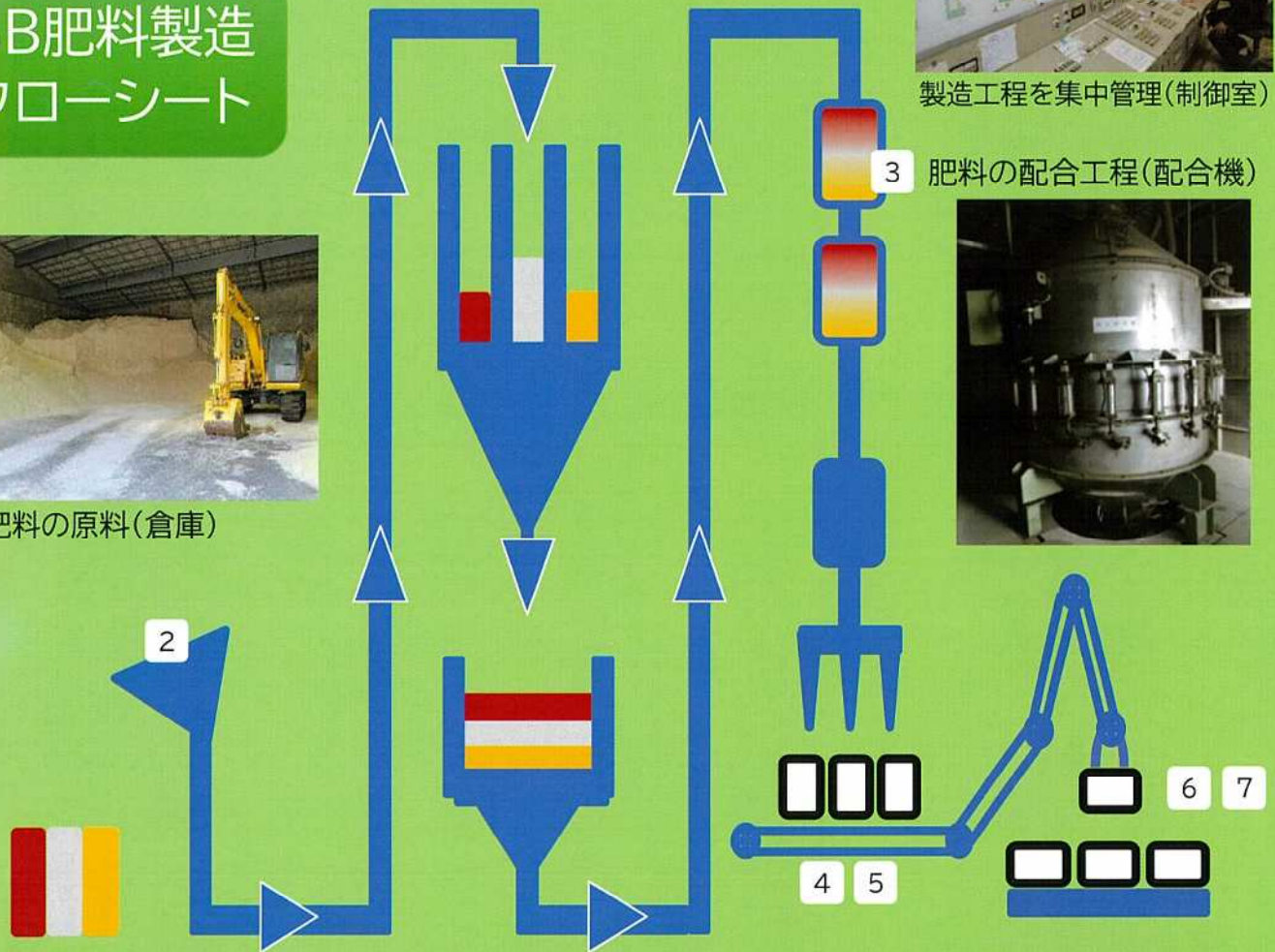
農家のために、肥料をつくる。

琉球肥料株式会社は、
沖縄県で唯一のBB肥料(バルクブレンドング肥料)の製造会社です。
わたしたちは常に沖縄県の農業の発展を願い、
たゆまぬ研究開発と最新設備で、
明日の農業を担う肥料製造を行っています。

BB肥料製造 フローシート



1 肥料の原料(倉庫)



製造工程を集中管理(制御室)



3 肥料の配合工程(配合機)



2 肥料原料の投入



4 包装工程(20kg袋等)



5 包装工程(フレコン袋)



6 パレット積付(ロボットパレタイザー)

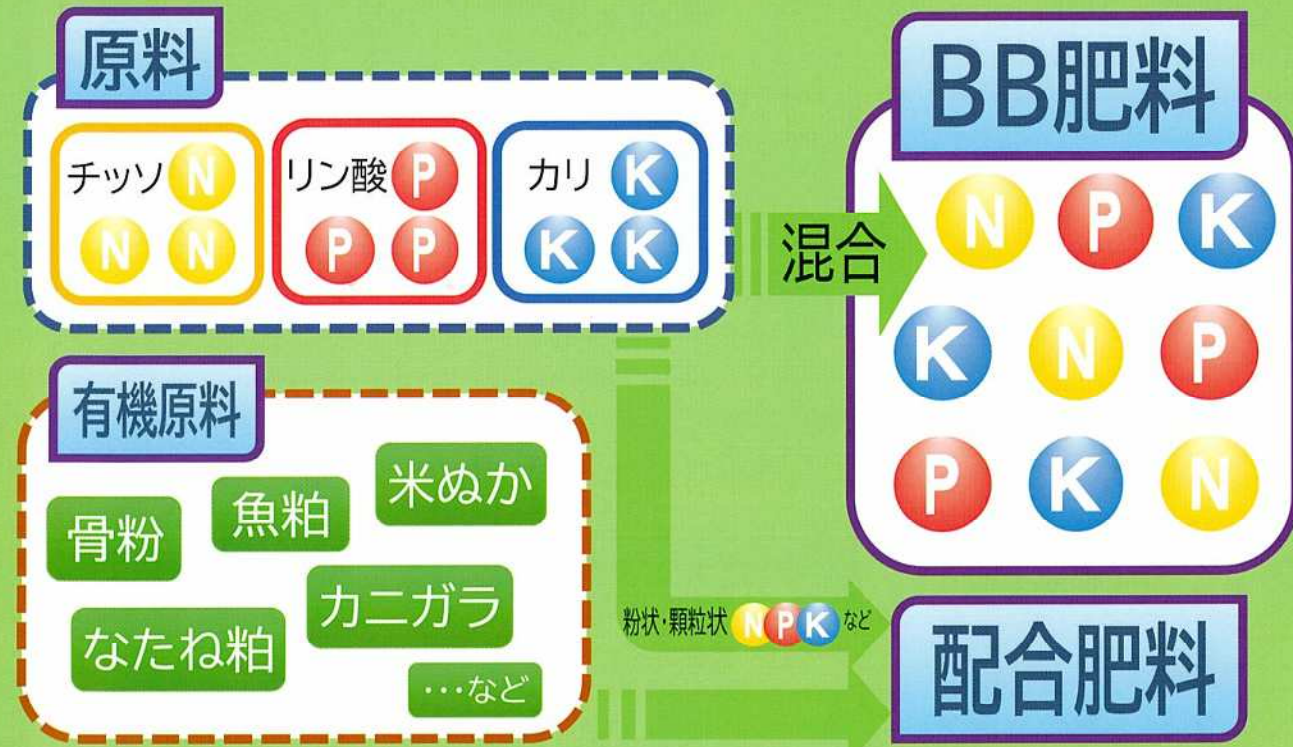


7 製品出荷



BB肥料、配合肥料とは？

BB肥料のBBとは、【Bulk Blending】の頭文字を使用した名称のことです。Bulk(バルク)は「粒」、Blending(ブレンディング)は「配合」を意味しており、粒状の原料を物理的に混合した肥料を「BB肥料」と呼んでいます。また、有機原料や粉状、顆粒状の原料などを混合した肥料を一般的に「配合肥料」と呼んでいます。



BB肥料、配合肥料の特長

産地からのニーズに対応します

肥料原料の種類や配合割合を変えることにより、作物、地域、土壌特性、土壌診断結果に基づき肥料を低コストに製造することができます。
事例: さとうきび肥料(BB370、BB500、BB699、他)、大東1号、BBゼロカリなど

特産作物や沖縄県栽培基準に適合した肥料です

沖縄県は、亜熱帯気候を活かした様々な特長ある作物があります。これらの作物に対応する肥料、また県が策定した栽培基準に適合した肥料を開発しています。
事例: マンゴー専用1号、みかん専用1号、パイン新1号、BBいも肥料、牧草専用1号など

緩効性肥料の配合で施肥作業の省力化ができます

作物の肥料成分吸収パターンに適した緩効性原料を配合した肥料を開発しています。
事例: きび一発くん、苦土入り424(水稻)、インゲン専用、田いも専用肥料など

環境にやさしく、土づくりにもお役に立ちます

カニガラ、米ぬかなどの有機質原料やハイパーCDUなどを配合した肥料は、環境にやさしく、土壌の微生物環境の改善にも期待ができます。
事例: カニガラ有機、有機ペレット685、有機684(有機80%)、ハイパーCDU566など

肥料は作物を育み、
作物は健康を育み、
健康はわたしたちの明日を育む。
琉球肥料は、
より良い明日のために
今日も全力で取り組みます。

弊社の概要

社名: 琉球肥料株式会社
所在地: 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地15
TEL(098)938-5566(代) FAX(098)938-5568
URL <http://www.ryuhi.sakura.ne.jp>
Email ryuhi@wing.ocn.ne.jp
資本金: 6,100万円
創立: 昭和27年3月19日
取引金融機関: JAおきなわ、琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行
土地: 工場敷地 30,696㎡(9,285坪)
建物: 8,100㎡(2,450坪)※工場及び事務所を含む

沿革

昭和27年 3月	琉球肥料株式会社・資本金1,200万円(B円)で創立	平成3年 9月	台湾への液肥輸出開始
昭和28年 5月	りん鉱石(アフリカ産ガフサ鉱)を輸入し、りん酸肥料ハイホスカを製造開始	平成5年 6月	中城湾新港地区工業団地内(沖縄市海邦町)新社屋・工場建設工事完了、同時に豊見城工場の操業を廃止
昭和29年 6月	硫安、塩化加里を輸入し各種配合肥料製造開始	平成5年 9月	ペレット肥料の製造販売開始
昭和33年 6月	片倉チッカリン株式会社と技術提携、化成プラントを建設、製造開始	平成6年 10月	沖縄の産業まつりで、微量要素入りマンゴー肥料が奨励賞受賞
昭和39年 10月	液状肥料製造開始	平成10年 5月	台湾へBB肥料を輸出(3,600袋)
昭和43年 12月	高度化成製造プラント完成、高度化成肥料製造開始	平成14年 11月	自動フィルム包装機(ラップストレッチマシン)を導入
昭和46年 7月	琉球農業協同組合連合会(現JAおきなわ)と業務提携	平成17年 7月	(有)琉肥共栄事業所を吸収合併(簡易合併)
昭和47年 5月	本土復帰に伴い資本金6,100万円(1株305円の20万株)となる	平成21年 12月	当社ホームページ開設
昭和47年 11月	りん鉱石粉末の可溶性を増大せしめる粒状複合肥料製造法についての特許取得	平成24年 6月	台湾農泰貿易有限公司へ当社液状肥料を輸出
昭和50年 8月	有機入り化成肥料製造開始	平成27年 11月	工場の原料解袋フローコンベア導入
昭和53年 9月	株主総会の決議により、円建株券を発行(1株500円の12万2千株、資本金6,100万円)	平成29年 2月	離島向け専用のラップストレッチマシン導入
昭和55年 1月	BB肥料工場完成	平成29年 11月	工場の供給ライン及び配合設備の一部更新
昭和55年 9月	化成肥料の製造を廃止	平成30年 9月	原料シフターの増設工事実施
昭和57年 11月	沖縄の産業まつりで、県知事より有機入りBB肥料、最優秀賞受賞	令和元年 11月	包装機械設備を更新
		令和2年 11月	肥料積付機をロボットパレタイザーに設備更新

